生活のあらゆる場面であったらいいな、を全力サポート！！

かしょのゆめ

かわらばん

Kasho-no-Yume Kawaraban

vol. 26
September 2025
take free 無料

Kotoba-no-ha（ことのは）

受け継がれるお盆のこころ

「盆ごも収集」と、暮らしに寄り添う取り組み

Column（コラム）

行政書士・ビジネスコーディネーター

伊藤桂子先生のほっとコラム

「減ってきた・増してきた（マルマル）」

生活のあらゆる場面で「あったらいいな」を全力サポート!!

「かしょのゆめ」ができること

私達がご提供するサービス内容はお客様各々の事情によって変化します。生活を営む中で、もしかしたら家族には「頼みにくい」「申し訳ない」と思う事柄が出来るかもしれません。
そんなご依頼が私達の得意分野です。家庭生活に関わる全ての悩み事をご相談ください。
精一杯お客様のご満足を追求します。

▶生活支援事業

様々な支援業務を通じて、あらゆる場面で生活をサポートいたします。
〈主な支援内容〉
・炊事・洗濯・清掃・買い出し・送迎
・付添（病院、理美容院、娯楽、他）
・お墓参り代行
・見守り親孝行代行　他

▶遺品整理事業

遺品の整理、荷物の運搬や処分、家屋の清掃と家具類の整理、また貴重品捜索と不用品処理作業・各部屋・各箇所の清掃業務等、時間と手間がかかる遺品整理を懇切丁寧に行います。形見の品や貴重品を配送手配のサービスも実施しています。

▶生前整理・住空間整理事業

ご年配の方が施設や病院に移られるなどの場合、空き家となるご自宅の部屋にある家財道具や備品類を整理致します。ご本人のご家族やご親戚がご高齢の場合や遠方に居住しておられる場合でも安心してお任せいただけます。

▶リサイクル事業

生活の中で不要になった品物を有効活用し、新たな価値を見出します。
（どんなものでもご相談ください）

不用品買取を LINEで即時査定

▶引越事業

「小さなお引越便」で荷物一個からのお引越し。近距離・小規模の荷物移動を承ります。お気軽にご依頼ください。

小さなお引越便

▶空き家管理事業

短期間の空き家・売買予定の空き家お家の状態・ご希望によってご提案致します。

▶出張美容サービス事業

美容師の国家資格を持ったプロのスタッフが、様々なご事情によってご自身で美容院に行くことが出来ない方を対象に、介護施設、高齢者施設、障害者施設等にお伺いし、カットを中心に男性女性問わず美容サービスを提供させていただきます。

▶終活支援サービス事業

任意後見人制度の活用や、生前整理専門スタッフ・行政書士・司法書士・弁護士との連携を通してお客様の終活をきめ細やかにフォローいたします。

【終活アドバイスプランナー】と考える 終活のススメ

※上記以外にも、サービスプランを多数ご用意いたしております。ご要望やご予算に合わせた最適なプランをご提案させていただきます。　※サービス料金はサービスプランにより異なります。　※詳しくは下記までお気軽にお問合せ下さい。

各サービス・求人についてのお問い合せ・ご連絡は

株式会社かしょのゆめ　http://kashonoyume.jp/

石巻本社 問合せ・連絡先
〒986-0881 石巻市明神南9番地4
FAX 0225-95-0080（本社・仙台営業所共通）
お電話 ☎0225-95-0070
メール info@kashonoyume.jp

仙台営業所 問合せ・連絡先
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-2-15
ソララプラザ3F SPACES仙台内
LINE
お電話 ☎080-9071-0086
メール sendai@kashonoyume.jp

理容師・美容師 正社員または業務委託募集

専用移動車両による出張理容・美容サービス

すべての方に理美容サービスをご提供するために。正社員または副業としても。

福祉施設や一般家庭・公共施設などへお客様ご指定の場所におもむき、高齢者の方や様々な事情により理美容室に行けない方々のための「移動理美容サービス」です。現在店舗をご経営中の方でも都合が合った時に稼働いただけます。

正社員（店長候補）
給与　月給250,000円～
経験・年齢を考慮し当社規定により決定
勤務地　石巻市内および近隣地区
時間　8:00～17:00　完全週休二日制
資格　理容師または美容師免許必須
準中型運転免許（2t車運転経験のある方優遇）
待遇　賞与年2回・期末手当あり（昨年度実績）
昇給あり・各種手当・退職金制度あり
社会保険制度完備・制服貸与

業務委託（副業歓迎）
勤務地　石巻市、及び近隣地区
時間　8:00～17:00の間 ※応相談
資格　理容師または美容師免許必須
準中型運転免許（2t車運転経験のある方優遇）
※副業としても歓迎します
待遇　制服貸与・交通費支給 ※条件あり

ご応募・お問い合わせ先 ☎0225-95-0070 担当／鎌田

編集後記

はじめまして、5月に入社しました横山大樹と申します。現在は現場研修を通して、生前整理や遺品整理の大切さを実感しながら日々学んでいます。これから営業としても活動予定ですが、まずは一つひとつの経験を大切にし、少しでもお客様やチームの力になれるよう頑張ります！まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願いします。

〈今号の担当〉かしょのゆめ　横山 大樹

受け継がれるお盆のこころ

「盆ごも収集」と、暮らしに寄り添う取り組み

夏になると、どこか心が落ち着くのは、「お盆」という大切な風習があるからかもしれません。お盆は、ご先祖さまの霊をお迎えして供養する、日本ならではの心あたたまる行事です。8月13日から16日にかけて、多くのご家庭では迎え火や送り火を焚き、お墓参りをしたり、お仏壇にお供え物を並べたりして、亡くなった方を偲びます。

お供えするお花や食べ物には、「今年も帰ってきてくれてありがとう」という気持ちが込められています。そして、帰省して家族が集まる時間は、忙しい毎日の中で大切なひとときとなります。地域によっては、盆踊りや灯籠流しといった伝統行事も行われ、みんなでご先祖さまを敬う優しい時間が流れます。こうした習慣は、家族のつながりを再確認するきっかけにもなり、次の世代へと語り継いでいきたい大切な文化です。

石巻では、「盆ごも」と呼ばれる地域独特の風習があります。

「盆籠盛（ぼんかごもり）」が語源とされ、お盆のお供え物のことを指します。お盆が終わる8月16日になると、そのお供え物をお寺などでまとめて供養する「盆ごも収集」という行事が続けられてきました。以前は、お寺がそれぞれに供養をしたあと、石巻市が改めて回収を行っていましたが、2015年からは市の方針が変わり、「盆ごも」も家庭ごみとして集積所に出すようにとの通達がありました。それに対して、「ご先祖さまへのお供えを普通のごみとして出すのは、どうにも気が引ける…」という声が、多くの方から寄せられました。

そうした気持ちを大切にしたいと考え、私たち「かしょのゆめ」と石巻廃棄物処理センターは、2016年から「盆ごも収集」を社会貢献活動として再スタートさせました。今年も市内の各所を、5台の回収車が約2時間かけて巡り、心を込めて「盆ごも」をお預かりしました。回収後は供養もきちんと行い、多くの方に安心していただけるよう努めております。

地域に根ざす企業として、私たちは、この土地に受け継がれてきた文化や風習、そしてそこに息づく人々の想いを、何よりも大切にしたいと考えています。地域で働き、暮らすからこそ見えてくる課題や願いに、真摯に耳を傾け、少しでも力になれるよう行動すること。それが、私たち「かしょのゆめ」の使命であり、喜びでもあります。これからも地域に寄り添いながら、皆さまの心に寄り添える存在であり続けたいと願っています。

「困った」らご相談下さい
秋も生活支援
お引き受け致します!
買物代行　衣替え　掃除・洗濯等々
その他の「困った」も、ひとまず「かしょのゆめ」にご相談下さい。
お客様それぞれに最適化したサービスをご提供致します。
お見積り無料
※上記以外にも、サービスプランを多数ご用意いたしております。お客様のご要望やご予算に合わせた最適なプランをご提案致します。
※サービス料金はサービスプランにより異なります。※詳しくは下記までお気軽にお問合せ下さい。
お問い合わせ・ご相談はこちらまで 〈受付日時〉平日・祝日・休日 8:00～17:00
☎0225-95-0070

Column コラム

「減ってきた・増してきた」

行政書士・ビジネスコーディネーター
伊藤桂子先生のほっとコラム

私の家は田舎、田舎にあり、朝は元気なスズメくんたちの声で目がさめます。

今、庭には芙蓉（ふよう）の花が背丈を伸ばし、夏本番を待っています。

このかわらばんを皆様が手にするころは、樹高2～3mになり、満開になっているでしょう。

美人な方はよく「芙蓉の顔」といわれます。それは美しく清楚でしとやかな顔立ちを、芙蓉の花にたとえているのです。

当方は芙蓉とは縁遠く、「花より団子」の終活世代。LINEやSNSにやっとこさ、ついて行っている年代です。

今の時代、LINEやメール、SNSで、いつも誰かとつながっていないと落ち着かない人が多いと思います。

ネットもSNSもなかった時代は、人々は今より遥かに多くの「一人時間」を持っていたように思われます。

一方、今の時代は、誰かとコミュニケーションをとろうとします。

つながろうと思えば、四六時中、誰かとつながれる。だからこそ、「常に仲間とやりとりしていなければ」という想いに駆られてしまうのかもしれません。

もちろん、人との絆は大切なものですが、何を差し置いても「誰かと一緒にいること」を優先してしまうことになるのです。

人は深い自己対話を通じて、自分自身を進化させていくものです。

一人の時間というのは、とても贅沢なものです。

そして、本当は気が進まないのに無理につき合うなどということは、全く必要ありません。なぜなら、群れやグループは決して「安住できる場所」ではないからです。

一人になることを恐れると、無意識のうちにループのみんなにいい顔をしなければ」という気持ちが強くなっていきます。

たとえば、本当は休日に一人で行きたい場所があるけど、仲良しのグループにつき合う。そんな状況の中だと、「あの場所に行きたい」「ゆっくり映画を一人で観たい」といった自分の声を、自身でかき消してしまうことになるのです。

ぜひ、自分の内側にアクセスするための「一人の時間」を生活から閉め出さないようにしましょう。

もちろん人は一人で生きていくことはできませんし、目の前にあるご縁を育むのは大切なことです。

そうです。「孤立」と「孤高」はちがうのです。

という私は、すきま時間をパッチワークして、石巻博物館へ行ったり、障害者割引でシネマを観たりと、バタバタの生活の中にほんのちょっと「うるおい」をおぎなっています。

そこで一句。

「減ってきた　貯金
うるおい　歯の本数」

そして増してきたのは、
『風呂』『ごはん』
夫呼ぶ声　大音量」

そして、またまた皆様へ。

「すぐに簡単にできる、幸せになるための方法をお教えします。それは、よい思い込みをすることです。」

いかがでしょうか。

それではまた。次回の紙面でお目にかかります。

行政書士・ビジネスコーディネーター
伊藤　桂子（かしょのゆめ顧問）
石巻市桃生町在住。
行政書士、保護司
ビジネスコーディネーター
終活セミナー講師
好きな物…和菓子、お茶、古物